

「地理総合」の実施状況等に関する実態調査アンケートご協力のお願い

全国の高等学校等の地理歴史・公民科授業担当者 各位

2022 年度から実施されている高校等の教育課程における必修科目「地理総合」は設置 4 年目に入りました。この間、多くの実践が積み重ねられるとともに、昨年度後半には大学入学共通テストなどの大学入学試験で「地理総合」「地理探究」の問題が出題されました。さらに、昨年 12 月からは次期学習指導要領改訂の動きも始まっています。

この時期を捉え、（公社）日本地理学会地理教育専門委員会では、「地理総合」の一層の充実と次期学習指導要領改訂に向けた基礎的な資料を得ることを目的として、「地理総合」の授業の実態や実施に伴う課題などを把握するためのアンケートの実施を計画しました。

全国の高等学校等の地理歴史・公民科授業担当者で「地理総合」を担当された経験のある皆様には、上記の趣旨をご理解いただき、教科指導や進路指導などでご多忙を極めている中で恐縮ですが、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。また、ご所属の各都道府県地理教育研究団体、地理歴史・公民科教育研究団体などを通じて、ぜひ多くの方にご協力いただけるよう呼びかけていただければ幸いです。

アンケートのご回答は、6 月 末 日までに下記 URL または QR コードからよろしくお願いいたします。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個人のお名前や所属先などの情報が公表されることはありません。

調査結果等については、本委員会 HP に掲載するほか、学会での発表や会誌への掲載などによる公表を予定しています。

2025 年 5 月 30 日

公益社団法人日本地理学会
地理教育専門委員会
委員長 秋本 弘章

回答 URL : <https://forms.gle/UxkFodWsL2xMD2BdA>

QR コード :



※本アンケートは、Ⅰ. 地理歴史科の教育課程、Ⅱ. 「地理総合」担当者と使用教科書など、Ⅲ. 「地理総合」授業の状況や課題など、Ⅳ. 「地理総合」全般の課題やその解決に向けた取組 の 4 つのセクションがあります。おおよその回答時間は 5～10 分程度です。なお、同一の所属校から複数の方にご回答いただいても差し支えありません。

※問合せ先 URL : hakimoto@dokkyo.ac.jp (日本地理学会地理教育専門委員会 秋本)

【以下はオンラインで回答いただくアンケートの内容です】

I. 地理歴史科の教育課程

2-2. 地歴・公民科科目の設置や履修学年（年次）はどうなっていますか？

※複数の学年（年次）にまたがって分割履修する場合は該当する学年（年次）をすべてお答えください。

	1 学年（年次） （後期課程 4 年生）	2 学年（年次） （後期課程 5 年生）	3 学年（年次）以上 （後期課程 6 年生）	不設置
地理総合	☐	☐	☐	
地理探究	☐	☐	☐	☐
歴史総合	☐	☐	☐	
日本史探究	☐	☐	☐	☐
世界史探究	☐	☐	☐	☐
公共	☐	☐	☐	
政治・経済	☐	☐	☐	☐
倫理	☐	☐	☐	☐
地歴・公民科の 学校設定科目	☐	☐	☐	☐

II. これまでの「地理総合」の担当者と使用教科書など

1. 所属校（学科・コース）では、回答者ご自身を含め、これまで「地理総合」はどのような方が担当してきましたか？（複数回答可）

- ☐主に地理を専門とする若手（教職経験 10 年未満）の教員
- ☐主に地理を専門とする中堅以上（教職経験 10 年以上）の教員
- ☐主に歴史や公民を専門とする若手（教職経験 10 年未満）の教員
- ☐主に歴史や公民を専門とする中堅以上（教職経験 10 年以上）の教員
- ☐専門に関わりなく、クラス担任など履修学年（年次）担当の教員
- ☐その他：

3. 回答者が授業で使用している／使用していた教科書は、次のいずれですか？

- ☐701 東京書籍『地理総合』
- ☐702 実教出版『地理総合』
- ☐703 帝国書院『高等学校 新地理総合』
- ☐707 帝国書院『高校生の地理総合』
- ☐704 二宮書店『地理総合 世界に学び地域へつなぐ』
- ☐705 二宮書店『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』

Ⅲ. 地理総合」授業の状況や課題など

1. 内容 A (1) 「地図や地理情報システムと現代世界」の授業

1-1. 「地図や地理情報システムと現代世界」の授業は、どのような形の活動が主になっていますか／いましたか？最も多い形の授業を1つ選んでください。

○教員が、地図や GIS と現代社会 について、教科書の記述をもとに講義する活動が主になる授業

○教員が、地図や GIS と現代社会 について、ICT 機器などを使って示範する活動が主になる授業

○生徒が、地図や GIS と現代社会 について、ICT 機器などを使って作業したり、課題を追究してその過程や結果を発表したりする活動が主になる授業

1-2. 「地図や地理情報システムと現代世界」の内容について、どのように感じていますか／感じましたか？

○教員にとっては指導しやすく、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しやすいが、生徒にとっては学習しにくい内容

○教員にとっては指導しにくい、生徒にとっては学習しやすい内容

○教員にとっては指導しにくく、生徒にとっては学習しにくい内容

1-3. 「地図や地理情報システムと現代世界」を指導してみて、必要と感じている／感じた情報や研修などを、次のうちから2つまで（「その他」も含む）選んでください。

□地図や GIS の基本的な知識とその入手先などに関する情報

□手軽に入手・操作できる地図や GIS の種類とその入手先などに関する情報

□地図や GIS の基本的な操作に関する実践的な研修

□地図や GIS を使った教材作成に関する実践的な研修

□地図や GIS の基本的な操作や教材作成に関する YouTube などネット上の研修動画

□所属校・生徒の状況に即した「主体的・対話的で深い学び」につながる実践例に関する情報

□この内容と所属校・生徒の状況に即した評価手段・方法などに関する情報

□この内容に関わる今後の大学等入試問題の動向に関する情報

□とくにこの内容に関する情報や研修の必要は感じない／感じなかった。

□その他：

1-4. 「地図や地理情報システムと現代世界」の内容や配当時間などについて今後どのようにしたらよいとお考えですか？

○より充実すべきである ○現行のままでよい ○削減すべきである ○分からない

6. 「地理総合」の年間指導計画の中で、各中項目の配当時間の全体に対する割合はどうなっていますか？

10%未満 20%程度 30%程度 40%程度 50%程度 60%以上

内容 A (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「地図や地理情報システムと現代世界」						
内容 B (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「生活文化の多様性と国際理解」						
内容 B (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「地球的課題と国際協力」						
内容 C (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「自然環境と防災」						
内容 C (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「生活圏の調査と地域の展望」						

IV. 「地理総合」全般

「地理総合」全般の課題やその解決に向けた取組などについてお尋ねします。

- 「地理総合」全般について、課題と感じている／感じたことがありますか？ 次のうちから 2 つまで（「その他」も含む）選んでください。
 - ☐ 指導内容に関する知識・技能などを持つ教員の確保
 - ☐ GIS や地域調査などの作業的、体験的学習に必要な授業時間の確保
 - ☐ 生徒間における中学校社会科の知識・技能の定着度や PC などの操作スキルの違い
 - ☐ 授業づくりについて相談できる同僚や専門家などの相談相手
 - ☐ GIS などの指導に必要な機材や設備の整備
 - ☐ “思考・判断・表現”や“主体的に学習に取り組む態度”の観点を評価するための内容や方法
 - ☐ 「地理総合」の指導内容と「地理探究」の指導内容との関わり／関連性
 - ☐ 「地理総合」の指導内容と大学等の入試問題との関わり
 - ☐ その他：
- 「地理総合」の指導に関わって、教育委員会や学会、民間教育団体等の研修会に参加した経験はありますか？
 - ☐ ある ☐ ない
- 今後「地理総合」の内容構成や単位数をどうしたらよいとお考えですか？
 - ☐ 内容構成を見直し、単位数を増やすべき
 - ☐ 内容構成は現行のままで、単位数を増やすべき
 - ☐ 内容構成を見直す、単位数は現行のままでよい
 - ☐ 内容構成、単位数とも現行のままでよい
 - ☐ 分からない
 - ☐ その他：